

令和 7 年度

まちづくり懇談会実施結果報告書（陽東地区）

宇都宮市総合政策部広報広聴課

令和7年度 第1回まちづくり懇談会《陽東地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《陽東地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 令和7年7月12日（土）午前10時00分～（1時間程度）
- 2 開催場所 陽東地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 35人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，広報広聴課長
- 5 懇談内容
 - （1）地域代表あいさつ 陽東地区まちづくり協議会 会長
 - （2）市長あいさつ・市の取組紹介
 - （3）地域意見

No.	テ ー マ	所管課
1	高齢者等交通弱者に対する移動支援について	交通政策課 高齢福祉課

(4) 当日意見

No.	要 望	所管課
1	魅力ある自治会イベントの開催について	みんなでまちづくり課
2	陽東さくら通りの路面改修について	道路保全課
3	地域イベントの保障について	みんなでまちづくり課
4	福祉の困りごとを受け止める市の体制について	保健福祉総務課
5	連携を図った行政運営について	生活安心課 道路保全課
6	ライトラインの輸送力増強及びイベント開催について	L R T管理課 L R T整備課
7	生涯学習講座での講師謝礼等について	生涯学習課
8	一人暮らしのひきこもり者への対応について	保健福祉総務課

(5) 来賓あいさつ

(6) 市長謝辞

まちづくり懇談会（陽東地区）における意見及び回答の要旨

開催日時：令和7年7月12日（土）午前10時00分～

場所：陽東地域コミュニティセンター

参加者数：35名

◇地域意見

No.	意見の概要	回答の概要
1	高齢者等交通弱者に対する移動支援について ・陽東地区ではL R T沿線とそれ以外の地域で、公共交通の利便性の地域間格差が広がっている状況である。 ・市の交通施策（地域内交通）では、陽東地区で自治会ごとの交通利便性の違いから一律の支援金負担が難しく、効果的な運行ルート設定も困難である。 ・細谷・上戸祭地区において「停留所設置型予約方式」の実証運行が開始された。市長も「地域内交通は各地域の実情に応じてオーダーメイドで整備したい」と考えており、同様の方式を陽東地区でも可能にすることにより柔軟な対応が必要だと考えるがいかがか。 ・また、高齢者の移動支援のため高齢者外出支援事業（トトラ）の福祉ポイントのタクシー利用を早く実現してほしい。（所管課：交通政策課、高齢福祉課）	【市長】 ・地域内交通においては、まずは地域で必要か否かしっかり議論を重ねていただきたい。その上で必要となれば、勉強会を重ね、地域の実情に合ったものを取り入れていただきたい。 ・地域の人たちが愛着を持って運用していくことができるよう、運行内容については地域の皆さんで決めていっていただきたい。 ・陽東地区においても、「停留所設置型予約方式」も含め、地域に相応しい運行方式が検討できるよう、市として積極的に支援させていただくので、まずは、勉強会の開催や利用ニーズの調査手法などについてご相談いただきたい。 ・高齢者外出支援事業について、totraの福祉ポイントをタクシーで利用するためには、車両に専用の決済端末を設置する必要がある。 ・決済端末は、路線バスへの搭載を前提とした大きさの機器であり、設置できる車両の制限や、費用の課題があり、totraの活用のほか、新しい手法についても検討を行っていることから、今年度進めてまいりたい。

◇当日意見

No.	意見の概要	回答の概要
1	魅力ある自治会イベントの開催について（中学生の発言） ・自治会のイベントをより魅力的なものとし、未加入の人を惹きつけるようなものとしてほしい。 ・例えば、栃木S Cや宇都宮ブリッツェンなどが講演を行うイベントがあれば、若者などを惹きつけるものとなる。 ・その際、イベント予約をスマホなどネットで完結できる仕組みがあれば、より気軽に参加できるようになると考える。 ・そのような仕組みを整え、自治会をより身近なものとしてほしい。 （所管課：みんなでまちづくり課）	【市長】 ・自治会をはじめ、市としても自治会の加入率向上のため、様々な施策を行っている。 ・栃木S Cなどのプロスポーツチームには、小学校や中学校に来ていただき、様々な教室を開いてくれている。 ・お互いが支え合うまちづくりにおいて、「自治会」と「消防団」は重要なものである。 ・今後も自治会には力を入れていきたいので、もし良いアイデアがあれば、積極的に提案して欲しい。
2	陽東さくら通りの路面改修について ・陽東さくら通りの路面が劣化しているため、早期に修繕をしてほしい（場所はベルモール南側にある「ベルグランドハイツ」という建物～ツルハドラック宇都宮陽東点店の間の道路）。 ・陽東さくら通りは時速40キロ区間の道路であるが、制限速度を超えた通行車両が非常に多い。交通ルールを遵守するために何らかの対応をしてほしい。 （所管課：道路保全課）	【市長】 ・陽東さくら通りは、市内の桜の名所の1つである。 ・桜の木は老木であり、年2本ずつ順次植替えを行っている。 ・路面が劣化している箇所については、現場を確認した上で対応していきたいので、現場確認の際などはご協力をお願いしたい。 ○所管課による後日対応 ・申出人へ架電し具体的な修繕内容を確認し、適切な修繕方法を検討して対応していくことを説明した。 ・制限速度を超えた通行車両への対応については、交通管理者へ情報提供し、対応を検討していただくことで了承していただいた（東警察署へ情報提供済み）。
3	地域イベントの補償について ・夏祭りを運営しているが、運営側として何か問題があった時の補償の面で不安がある。	【市長】 ・例えば、参加者については「スポーツ安全協会保険」などの民間のレクリエーション保険があるので、ぜひ活用いただ

	・このようなイベントに対して、市として何か補償制度はないか。 (所管課：みんなでまちづくり課)	きたい。 ・本市では、ボランティアの方に対して「市民ボランティア活動補償制度」があるが、一般参加者には適用されない制度となっている。 ・また、主催者側が全部負担することはできないので、熱中症については十分なアナウンスを行うなど、イベントに応じて対応いただきたい。
4	福祉の困りごとを受け止める市の体制について ・以前、市の総合計画で「福祉の困りごとを相談できる窓口を作っていく」とあったが、進捗はどうなっているのか。 (再質問) ・具体的にどのようにアクセスしたらいいのか。 (所管課：保健福祉総務課)	【市長】 ・様々な問題を広く受け止めることができるように、保健と福祉のまるごと相談窓口として「エールU」を設置した。 【総合政策部長】 ・(再質問に対して) 窓口として地域保健福祉担当5か所と、地域包括支援センター25か所があるので、活用してほしい。
5	連携を図った行政運営について ・行政が把握しているデータを活用し、警察などと連携を図った行政運営を図っていくことはできないのか。 ・市と警察がうまく連携を図っていくことができれば、例えば、栃木県の交通安全が全国でもワースト上位といった問題に対応ができるのではないか。 ・交通安全対策や取り締まりについて、行政間の連携が必要になってくると思うが、市ではどのように取り組まれているのか。 (所管課：生活安心課、道路保全課)	【市長】 ・交通安全については、県警と連携して啓発などを行っている。 ・道路についても、標識や路面標示の設置などの交通安全対策を県警と連携しながら実施している。
6	ライトラインの輸送力増強及びイベント開催について ・ライトラインの混雑が悪化している。7月から清原工業団地へ向かう通勤用のバスが無くなったことも影響している。これらの対策については何か考えているのか。	【市長】 ・L R Tは来月2周年を迎える頃には、利用者が1,000万人を超えそうである。 ・市は現在の混雑状況を改善するため、車両の下部にあたる

	・ライトラインのイベントも増やして欲しい。去年開業1周年に行った声優とのイベントやゆるキャラを活用したイベントなどがもっと増えてくれると嬉しい。 (所管課：L R T管理課，L R T整備課)	「台車」を2編成発注した。この台車が常時待機することで、万が一車両が車検などで運行できなくなっても困ることがない。台車に車体を載せればすぐに車両として使えるため、混雑の緩和につながると考えている。 ・車両を購入すると金額が高くなるため、今回は台車だけの発注とした。 ・声優の方に来てもらったり、ゆるキャラと一緒に乗ってもらうといったイベントはPRとなる。L R Tはまちづくりに欠かせないものであるため、今後も全国に発信できるよう工夫していきたい。 ※当日市長から「3編成発注した」と発言がありましたが、正しくは「2編成発注した」です。
7	生涯学習講座での講師謝礼等について ・生涯学習講座における講師謝礼の金額を上げてほしい。 ・(以前2台あったバスが、今は1台になってしまったが)生涯学習講座において利用できるバスを増やして欲しい。 (所管課：生涯学習課)	【市長】 ・謝礼の件とバスの件については、調べた上で改めて連絡をさせていただきたい。 ○所管課による後日対応 ・講師謝金の単価設定や見直しに関する考えを説明し、了承していただいた。 ・生涯学習講座でのバス利用については、参加者数に応じて市有バスの使用やレンタルなどの方法を検討できるため、講座内容を検討していく中で御相談いただきたいと説明し、了承していただいた。
8	一人暮らしのひきこもり者への対応について ・地域に一人暮らしで引きこもりの男性がいる。 ・民生委員として地域の方々の現状を把握したいが、なかなか本人と接触できず困っている。 ・また、市にそのような相談をできる窓口がなくて非常に困	【市長】 ・個人情報の観点などから、今は民生委員の活動が行いづらくなっている。 ・市としてどういった接点があるのか調べさせていただき、改めて御連絡をさせていただきたい。

	っている。 (所管課：保健福祉総務課)	○所管課による後日対応 ・担当所管部署から申出人に架電し、状況確認を実施した。 また、当該男性に対し所管課において適切に対応している。
--	-----------------------------------	---